

回答書

(工事名) 響町一丁目地内(その1) 管渠築造工事

番号	質問	回答
1	第 0013 号～0017 号代価表 立坑工 圧入掘削積込機械は揺動式と回転式のどちらをご採用でしょうか、ご教示下さい。	・設計書の積算は最も経済的な工法を採用しております。施工においてはどちらも採用可としております。
2	第 0029 号代価表 調査工 調査箇所数は何カ所でしょうか、また、削孔対象土質はすべて砂質土ということでしょうか、ご教示下さい。	・調査箇所数は 4 箇所を想定しています。 ・想定場所は、立坑位置においてピンポイントに既存ボーリング柱状図が無い No. 1 立坑位置及び No. 3～No. 5 立坑位置を想定しています。設計書において対象土質は全て砂・砂質土としておりますが、本工事のボーリング結果に応じて設計変更で対応したいと考えております。
3	準備費にある調査工の機械ボーリング工とは標準貫入試験なののでしょうか？土壌成分調査なののでしょうか？ご教授下さい。	・標準貫入試験は含まれておりません。 ・立坑位置においてピンポイントに既存ボーリング柱状図が無い No. 1 立坑位置及び No. 3～No. 5 立坑位置の地層構成、土質状況の把握を目的としております。